

BEMAC 株式会社、海洋および EV 分野での革新をリード

BEMAC 株式会社は、グローバルな人材、サステナビリティ、最先端のバッテリー技術を通じて、海洋および EV 技術を進展させ、これらの産業におけるリーダーの地位を築いています。

「電力、デジタルトランスフォーメーション（DX）、AI を駆使して、高効率と安全性を実現し、止まらない船を目指します。」

小田雅人

BEMAC 株式会社 代表取締役社長兼グループ CEO

—

BEMAC 株式会社（旧渦潮電機）は、1946 年に設立され、造船および EV 分野での革新の最前線に立っています。34%の国際スタッフを含む 2,000 人以上の従業員を擁し、伝統と先進的な戦略の融合を体現する同社は、海洋およびモビリティ産業の未来を形作っています。

先駆的なバッテリー技術

2019 年に渦潮電機から BEMAC への移行は、同社の EV 市場への進出を示しました。この動きは、海洋およびモビリティ分野にデジタルおよび IT ソリューションを統合するという同社の目標に沿ったものです。BEMAC の社長である小田雅人氏は次のように説明しています。「リチウムイオンバッテリーの運用を改善し、バッテリーマネジメントにおける技術的進歩を図ることで、船舶事業の強化を目指して EV 分野に参入しました」。

現在、BEMAC は EV 用のパワーコントロールユニット（PCU）の開発に多大な投資を行っています。小田氏は、今後 5 年間はリチウムイオンバッテリーが主流であり続けると見ていますが、将来の進歩を見据える重要性を強調しています。「高性能でリスクが少なく、希少金属に依存しない新しい配合を見つけることが重要です」と小田氏は述べています。同社は、安全性とリサイクル性を高めるために、マンガンや亜鉛のような代替材料を模索しています。

サステナビリティと革新

サステナビリティは BEMAC の主要な焦点であり、特に海運業界が 2050 年までにカーボンニュートラルを目指す中で重要です。同社は電動船のバッテリー充放電に伴う膨大な電力需要に対応する技術を開発しています。「高性能を持つシリコンカーバイドパワー半導体を利用して、高出力コンバータの小型化と効率化に取り組んでいます」と小田氏は述べています。

BEMAC の戦略的な立地である今治市は、海洋産業の中心地として、革新と急成長のための強力なエコシステムを提供しています。同社は、さまざまなプラント向けに包括的な発電および運用システムを提供しており、AI と DX を統合して効率と安全性を向上させています。小田氏は、「電力と DX、AI の力で止まらない船を目指し、これらの分野に 1000 人以上の技術者がいます」と強調しています。

未来のビジョン

BEMAC の長期的なビジョンには、温室効果ガス排出量を最小限に抑え、安全で効率的かつ停止することなく運行する船舶の創造を通じて、世界最大の海洋 IT 企業になることが含まれています。同社の MaSSA (Maintenance System for Soundness Sailing Ability) イニシアティブは、データを活用して最適な船舶運航を実現し、事故を減らし、効率を向上させることを目指しています。

結論として、BEMAC 株式会社は、戦略的な革新、グローバルな人材獲得、そして強力なサステナビリティへのコミットメントを通じて、海洋および EV 分野をリードする準備が整っています。小田氏のリーダーシップの下で、同社は経済的な課題と技術的な進歩に対応し、世界市場での著名な地位を確保することを目指しています。